

# 「R&D 懇話会 238 回」新事業の創出を加速する手法を考える ～オープンイノベーションを中心とした挑戦事例のご紹介～

主催 公益社団法人日本化学会 産学交流委員会

【会期】 2024 年 9 月 30 日 15 時～17 時

【開催形式】 Zoom を利用したオンラインセミナー（ライブ配信・見逃し配信）

※見逃し配信期間は会期後約 2 週間を予定。詳細は申込者へメールにてご案内します。

## 【企画概要】

昨今の化学・素材産業では製品ライフサイクルの短縮化や顧客ニーズの多様化により市場変化のスピードが速く、いかに素早くイノベーションを起こし新規事業を生み出していくかが課題となっています。しかし短期間でイノベーションを生み出す仕組みの構築やオープンイノベーションの活用が重要であることは意識されていながらも、具体策については多くの企業研究者、技術者が悩んでいるのではないのでしょうか。今回はそのような課題に対し、スタートアップを含めた技術起点のオープンイノベーションにおいて互いの長を生かした協業を進めていく手法や、大手化学メーカーにてオープンイノベーションを含めたイノベーション加速の仕組みを構築・運営されてきたお二人の講師にご講演いただき、参加者の皆様に具体例に触れる機会を提供し、新規事業創出の挑戦への糧としていただければと考えております。

## 【プログラム】

### 15:00-15:05 開会挨拶、趣旨説明

小島 綾一（産学交流委員会 懇話会小委員会 委員／旭化成）

### 15:05-15:50 “成功確率を上げる”オープンイノベーションの実践知

#### ー技術起点だけではないオープンイノベーションの成功ポイントー

土井 雄介 氏（株式会社ユニッジ Co-CEO／株式会社アルファドライブ 東海拠点長）

メーカー、インフラ、物流等、業界問わず大企業 60 社を超えるオープンイノベーション支援、200 社を超える社内新規事業支援を推進してきた AlphaDrive / UNIDGE の実践知を元に、昨今流行っているオープンイノベーション、スタートアップ連携でよくある勘違いや、成功確率を上げるポイントをお伝え致します。

### 16:00-16:45 マーケティング&イノベーションによる新規事業創出活動

田村 敏 氏（旭化成株式会社 顧問／一般社団法人 Japan Innovation Network

エグゼクティブディレクター アドバイザー）

メーカーである旭化成において、2019 年から 3 年間に渡り取り組んだ「自社コア技術だけに囚われないマーケティング起点からの新規事業創出への挑戦」について、取り組みの背景・コンセプト・運用事例等をオープンイノベーションとの関わりを含めてご紹介する。

### 16:55 まとめ、閉会挨拶

小柳津 聡（産学交流委員会 懇話会小委員会 委員／高分子学会）

【参加費】 R&D 懇話会会員 9,000 円（R&D 懇話会無料参加券が利用可能）、日本化学会会員（個人・法人）9,000 円、非会員 12,000 円。※いずれも「税込」で、課税区分は「課税」です。

【申込】 チケット申込サイト「Payvent」よりお申込みおよび事前決済を行ってください。詳細はリンク先にてご確認ください。申し込みは下記より

[https://app.payvent.net/embedded\\_forms/show/667bd17a043a3d2680a0e285](https://app.payvent.net/embedded_forms/show/667bd17a043a3d2680a0e285)

【問合せ】 日本化学会企画部 河瀬 [sangaku@chemistry.or.jp](mailto:sangaku@chemistry.or.jp)